

1学年だより

令和2年12月4日(金) No.27



道徳の授業の様子

「ハチドリのにしく〜今私にできること〜」を読み、地球環境を守るために自分たちにできることを考えました。環境分野で初のノーベル平和賞を受賞したケニア出身のワンガリ・マータイさんが2005年に来日した際、「もったいない」という日本語を聞き、感銘を受けたそうです。マータイさんはこの日本語を世界共通語で「MOTTAINAI」として広めることを提唱しました。これらの話を知り、生徒が考えたことや思ったことを一部紹介します。

- ・ハチドリにとっては、前向きにただひたすらみんなのために尽くすことだというように考えられる。だが、ハチドリがみんなのために尽くしても、みんなが一人のために尽くすことができなければハチドリの努力はすべて無駄になってしまう可能性だってある。地球も同じで、どれだけ一人が努力してもみんなが努力できなければ地球に未来はない。一人ができる努力をみんなができるようになれば、地球の未来は明るいものとなるだろう。身近なことの積み重ねが地球の環境を心地よいものにしていくのだと思った。
- ・最初はレジ袋をもらわないだけで15gのCO²を減らせるなんて意味がないと思っていたが、ハチドリのようにあきらめず一つ一つを積み上げられるようにしていきたいと思った。
- ・この授業を受けて、考えるのではなく動くことが大切だと思った。見ているだけではなにも変わらないし、奇跡は起きない。でも動くことができればその1秒で奇跡が起こるかもしれないと思った。
- ・「自分は自分のできる最高のことをする」この言葉が心に残った。たとえ小さくて意味のないと思えることでも、いつかきつと実を結んで自分も変わることができるということだと思う。マータイさんのもったいないキャンペーンもすべて意味があり、いつか世界や自分たちが救われるような素晴らしい世界になるのだと思った。
- ・「人のために何かをする」と口で言うのは簡単なことだが、それを本当に実行することのできる素晴らしさを感じた。
- ・たとえ小さなことでも「塵も積もれば山となる」という言葉があるように、毎日続けたい。みんながそれをすることによってCO²は減っていくと思う。今は思い浮かばないが、もし思いついたらどんな小さなことでも続けてみようと思った。
- ・自分にできることはたくさんあるということがわかったので、これからは自分にできることを見つけて行動したいと思った。

来週の予定

日	曜日	1校時		2校時		3校時		4校時		5校時		6校時		給食	予 定
		1組	2組	1組	2組	1組	2組	1組	2組	1組	2組	1組	2組		
7	月	数	数	体	体	英	英	技	家	家	技	三者面談		○	朝礼
8	火	音	体	体	音	国	理	理	国	英	英	三者面談		○	三者面談終
9	水	英	英	数	数	国	社	社	国	道	道			○	一斉委員会 英会話 15:10
10	木	体	体	数	数	美	社	社	美	国	理	理	国	○	
11	金	理	社	国	理	英	英	社	国	体 美		総	総	○	1年国際理解⑥
12	土	道	道	いのちと心の授業										×	土曜公開 道徳授業公開講座